

小中一貫校だより

第1回静浦地区小中一貫校推進委員会の開催

沼津市教育委員会では、静浦地区小中一貫校の開校にむけて、平成20年12月に「静浦地区小中一貫校推進委員会」を設置し、地域や学校関係の皆様から御意見を伺いながら、準備を進めてまいりました。昨年度5回の会合にて御検討をいただき、今年度4月には静浦地区の3小学校を統合し、新たな静浦小学校をスタートすることができました。

今年度は、第1回会合を、8月3日(火)、静浦地区センターを会場にして、現在までの取組についてお知らせするとともに、「魅力的な静浦地区小中一貫校にするために」を議題に、意見交換していただきました。

今後も推進委員会での協議の状況等について、皆様にお知らせしていきます。

<推進委員会のメンバー>

推進委員会は、学識経験者、静浦地区連合自治会長・副会長、静浦小PTA会長・副会長・保護者代表2名、静浦中PTA会長、小中学校長の合計11名で構成されています。また、特別委員として、6地区の自治会長に御出席をいただいたほか、保護者の方にも傍聴いただきました。



静浦地区センターでの会議の様子

<推進委員会の協議内容>

推進委員会は、昨年からのメンバーに入れ替わりがあったため、会長・副会長の選出から始まりました。会長には根本稚枝子様(元静浦東小学校校長)、副会長には秋山勉様(静浦地区連合自治会長)に御就任いただきました。協議においては、以下の要望と提案が出されました。

(要望)

- ・ 魅力的な小中一貫校にしてほしい。
- ・ 恵まれた自然を生かしてほしい。
- ・ スポーツや学習の成績も上がるといい。
- ・ 芝生の運動場やビオトープがあるといい。
- ・ プール施設を整え、水泳に力を入れたい。
- ・ 人が集まる学校に。モデルケースにしてほしい。

(魅力的な小中一貫校にするための提案)

- ・ 自分に自信が持てる児童生徒にしたい。豊かな自然と地元の方々の力を生かした「静浦学習」ができるといい。
- ・ 静浦地区には人材と協力的な地域の力がある。芝生の管理にはPTAや地域の力も重要。
- ・ 小学校教師も部活動の顧問になり、部活動の充実を図ってほしい。
- ・ 地域と学校が一体となってやれる行事があるといい。これまでも学校と地域が行事で交流し、皆が顔見知りとなった。小規模から始めたらどうか。
- ・ 地元の方が色々教えてください。力を生かしたい。
- ・ 若い保護者の意見をもっと入れたい。保護者にもっと関心を持ってほしい。

<報告事項>

○小学校の統合及び中学校の移転に向けたこれまでの取組について

①通学路の安全対策

昨年度、静浦地区の3小学校統合に向けて、通学路の整備及びバス通学援助などの検討を進めてきましたが、4月22日（木）に通学上の問題点等について、学校保護者代表と通学方法改善会議を開きました。バスの運行、子どもたちの登下校の状況についていただいた御意見によって、国道414号歩道（はまゆう前バス停、静浦保育園入口、馬込バス停、獅子浜北バス停付近）の縁石にコーンを取り付けました。また、塩久津バス停の補修などを進めてまいりました。小学校の先生方からは、「保護者の方の旗振り当番や、地域のお年寄りが見守りをしてくださり、大変にありがたい」というお話が聞けて、大変にありがたく感じました。



②残暑の中、みんなで進めた中学校の移転



8月21日（土）、多くの保護者の皆様、中学生に静浦中学校の移転に御尽力いただきました。まだまだ残暑厳しい中、生徒の机・椅子の移動が主な活動でしたが、運搬トラックが着くまでの間、気持ちよく用具の運搬に取り組んでいる中学生や、新校舎の清掃に汗して働く保護者の皆様の姿が印象的でした。先生方については、前日の朝から夜遅くまで、様々な教材・教具の移動、片付けに当たっていただきました。まだまだ落ち着くまで大変かと思いますが、それぞれの方々が皆で新たな中学校の船出を応援してくださり、予想以上に能率よく作業を進めることができました。

<お知らせ>

○中学校の移転に伴う住所等の変更について

中学校の移転に伴う住所等の変更について、静浦中学校の住所等が下記のとおり変更となるため、お知らせいたします。

- | | | |
|----|-----------|----------------------|
| 1, | 移転後の住所 | 〒410-0106 沼津市志下530番地 |
| 2, | 移転後の電話番号 | 931-3157 |
| 3, | 移転後のFAX番号 | 931-3457 |

この内容などについて御意見等のある方は、教育委員会事務局教育企画室（電話934-4821）へ御連絡ください。